

# 高倉だより 評価特集号

令和7年12月1日

京都市立高倉小学校

学校長 稲葉 康晴



## ～令和7年度 前半学校評価結果を お知らせします～

毎年、年度の前半・後半に一度ずつ、学校評価アンケートを実施し、学校評価の大切な指標として皆様のご意見を本校教育に生かす取組を進めています。前半評価は、教育年間計画に沿った教育活動の実践の中間点検にあたります。

### 令和7年度 前半学校評価の取組

今年度も、評価項目については、年度当初にお配りした「高倉小の教育」リーフレットの各ページにある「評価のポイント」をもとに設定しました。それは、昨年度からの経年変化もみていきたいと考えたからです。なお、今年度もスマイル評価部会による検討会におきまして、質問項目の検討や結果の分析を行いました。



### 学校教育目標

よりよい生き方を求めて、誇りをもち、未来にはばたく高倉の子  
～豊かに学び、表現し、高め合う姿をめざして～

### 【令和7年度 前半学校評価の流れ】

4月	教育計画・評価計画
6月	アンケート項目の検討
7月	アンケート実施（児童・保護者・教職員）
7～8月	アンケート集計・分析
9月	校内評価（「自己評価」）
10月	スマイル「評価部会」による検討会
11月	学校関係者による評価 「スマイル21プラン委員会拡大理事会」において

## 評価項目と集計結果（R6年後半との比較）

▶5分野 24項目

▶4段階評価（そう思う・だいたいそう思う…**プラス評価**  
あまりそう思わない・そう思わない…**マイナス評価**）

	R6後半			R7前半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
＜確かさを育む教育＞						
① 学校の勉強がよくわかる	95.8%	93.0%	100.0%	97.1%	93.3%	89.7%
② 自分の思いや考えをすすんで伝え合う	91.8%	93.7%	93.5%	91.9%	94.5%	100.0%
③ 読書は好きですか（家庭での）	83.8%	63.8%	70.0%	84.4%	61.4%	76.9%
④ 家庭で読書をどのくらいしていますか ※別掲						
⑤ 家庭学習	93.8%	72.6%	93.1%	93.2%	93.8%	96.3%
⑥ 最後までやりぬく	96.1%	88.2%	100.0%	93.2%	92.1%	100.0%
⑦ 見通しをもって学習（学習予定表の活用）	90.2%	80.3%	86.2%	91.4%	86.1%	85.2%
⑧ 授業中の約束守って、集中して	95.8%	96.3%	100.0%	94.8%	96.4%	92.9%

	R6後半			R7前半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
＜豊かさ・たくましさを育む教育＞						
① 学校生活が楽しい・安心	94.8%	96.1%	100.0%	94.5%	95.7%	93.5%
② 思いやりのある温かい言葉づかい	94.6%	90.3%	93.9%	95.0%	90.2%	93.8%
③ 友達と大切にしよう	98.7%	97.7%	97.0%	97.7%	96.2%	93.8%
④ 学校の決まりを守って行動	97.3%	95.6%	94.1%	97.4%	97.4%	78.8%
⑤ 放課後・休みの日ルールを守る	97.1%	97.0%	91.2%	97.4%	97.4%	84.4%
⑥ 学校・家でのあいさつ	95.1%	86.1%	66.7%	93.7%	84.7%	62.9%
⑦ 地域でのあいさつ	93.3%	83.3%	76.5%	93.8%	81.3%	78.8%

	R6後半			R7前半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
＜健やかな心と体を育む教育＞						
① すすんで外遊び	75.4%	74.2%	93.9%	69.6%	76.3%	93.9%
② 食事マナー	97.3%	83.1%	100.0%	97.4%	84.2%	90.6%
③ 食事の好き嫌いなく楽しく	90.7%	76.6%	97.0%	92.4%	74.8%	87.5%
④ 朝ご飯	94.1%	95.4%		92.4%	96.6%	
⑤ 安全な登下校	97.8%	97.9%	93.9%	98.0%	97.8%	90.9%
⑥ 自分の心や体を大切に	95.5%	94.0%	96.9%	95.8%	94.0%	100.0%

	R6後半			R7前半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
＜高倉小の特色ある教育＞						
① 地域学習・伝統文化の学習に興味をもって	94.4%	95.4%	100.0%	97.1%	94.5%	96.7%

	R6後半			R7前半		
	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
＜学校・家庭の連携＞						
① 先生に話をしたり相談したり	81.6%		93.9%	85.9%		100.0%
② おうちの人に話をしたり相談したり	85.4%	92.1%		87.5%	91.4%	

※④家庭で読書をどのくらいしていますか

R6後半

	ほぼ毎日	週に2～4回程度	週に1回程度	ほとんどしない
児童	24.4%	27.3%	24.4%	23.9%
保護者	31.8%	28.1%	25.8%	14.4%

R7前半

	ほぼ毎日	週に2～4回程度	週に1回程度	ほとんどしない
児童	29.1%	24.4%	22.4%	24.1%
保護者	27.1%	32.9%	25.9%	14.1%

「学校の勉強がよくわかる」の項目は、教職員の評価が下がっています。もっとできると我々は期待をしています。一方で「自分の思いや考えをすすんで伝え合う」「家庭学習」「最後までやりぬく」といった項目の評価は上がっています。普段の授業でのコミュニケーションや、最後まで粘り強く取り組む姿勢は素晴らしいと感じています。

「友達と大切にしよう」「学校の決まりを守って行動」「放課後・休みの日ルールを守る」など、主に規律の面で課題があると我々教職員は考えています。言うまでもなく学習の面だけでなく、生活面、規律面も大事です。今一度、ルールがなぜあるのか、なぜ守るべきなのかをしっかりと指導していきたいと思います。ご家庭や地域でも、ご協力をお願いいたします。ともに子どもたちを育てていきましょう。

「食事の好き嫌いなく楽しく」の項目では、教職員の評価が下がっています。苦手な献立もあるとは思いますが、今の時期に様々な食材を経験していくことが大切です。無理強いはいけませんが、少しでもたくさんの食材に触れられるよう、声かけをしていきます。

### 全体として

ほとんどの項目で多少の変動はあるものの、概ねプラス評価が90%以上となっています。上記のように、「家庭学習」「最後までやりぬく」といった項目の大人の評価が上昇しています。これは学習に向かう姿勢がしっかりと育っているものと考えられます。この姿勢をこれからも大切にしてほしいと思います。一方で、規律の面で課題があります。学校は社会で生きていく力を身につけるところです。子どもたちが規律を守り、しっかりと集団生活ができるよう指導していきたいと思います。

## 学校評価前半アンケート結果より



■：そうおう

■：あまりそうおもわない

■：だいたいそうおう

■：そうおもわない

### 確かさを育む教育について

Q.家庭でどのくらい読書をしていますか。



#### R6後半

	ほぼ毎日	週に2～4回程度	週に1回程度	ほとんどしない
児童	24.4%	27.3%	24.4%	23.9%
保護者	31.8%	28.1%	25.8%	14.4%



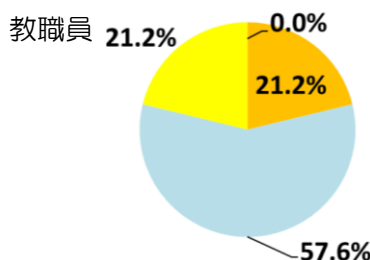
#### R7前半

	ほぼ毎日	週に2～4回程度	週に1回程度	ほとんどしない
児童	29.1%	24.4%	22.4%	24.1%
保護者	27.1%	32.9%	25.9%	14.1%

本校では読書に力を入れています。スマイル読解部会による「選書会」や読み聞かせ、図書室と歩む会委員会による「おはようおはなし会」「わくわくおはなし会」、京都おはなしを語る会による「おはなしの森」など、読書や本に触れるたくさんの機会があります。その取組の成果が出たのか、昨年度後半より評価が上昇しました。昨今の子どもたちにはたくさんの娯楽があります。テレビやゲーム、スマホ、動画など、刺激的なものがたくさんあります。その中で、「読書」を選んでいる子どもたちがたくさんいるというのは素晴らしいことだと考えています。読書をすることによって語彙力・読解力の向上、知識・教養の獲得、論理的な思考力の育成、集中力・記憶力の向上が望めます。また、ストレス解消や、想像力・表現力の向上も期待されます。これからも読書活動を推進し、子どもたちの健やかな成長を目指していききたいと考えています。

### 健やか心と体を育む教育について

Q.学校の決まりを守って行動していますか。

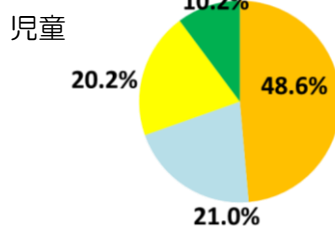


こちらは児童の評価は高いのですが、教職員の評価が低い結果となりました。今年度より代表委員会が組織されています。これは各学級の運営委員と、各委員会の委員長・副委員長、そして3年生の学級代表2名で組織される委員会です。1か月に

一度集まり、今現在困っていることや、よりよい学校にするためにはどうすればよいかを話し合っています。特によく出ているのが、「廊下を走る」「チャイムが鳴ってもすぐに戻らない」といった意見です。この課題に対し、子どもたちは各委員会で放送をしたり、見回りをしたりと、自分たちで解決すべく動いています。その活動自体は素晴らしいことではありますが、なかなか改善が見られていないのが現状です。学習面では大きな成果が出ている高倉小学校ですが、こういったルールを守る面では少し弱いと感じています。なぜルールがあるのか、ルールを守らなければならないのかを今一度しっかりと学ぶ必要があると感じています。それにはまずは大人が率先してルールを守る姿勢を見せる必要があります。子どもたちとともに高め合えるよう、しっかりとルールを守り、規律あるよい学校にしていきたいと思っています。

### 豊かさ・たくましさを育む教育について

Q.すすんで外遊びをしていますか。



児童ですすんで外遊びをしていると答えたのは全体の69%となりました。普段の様子からすると低いと感じる数値です。これはアンケートを取った時期にも要因があると考えています。今年は例年以上に暑さが厳しい夏でした。

子どもたちは遊びたいと思っても、熱中症指数が高いことにより、遊ぶことができない日々が続きました。その中でアンケートの実施でしたので、より低い数値になったのかもしれませんが。前述の代表委員会が出た子どもたちの意見には「運動場が無理ならば、体育館で遊ばせてほしい」というものがありました。体育館も暑いですが、日差しを回避できること、扇風機を回すことができることから、運動場が無理でも遊ぶことが可能な日があります。この意見からも子どもたちが遊びたい、体を動かしたいということがうかがえます。今後は体育館の使用を検討し、環境を整えることで子どもたちの意欲を汲んでいきたいと思っています。

### 自由記述のご意見 今回の学校評価アンケートでの自由記述欄のご意見・ご感想の一部を紹介させていただきます。

- 体育館が暑すぎて心配です。涼しい風が出る扇風機や扇風機の台数を増やすとか早急に手配して頂きたいです。
- 昔に比べて、気温が上がってきており、社会科見学や運動会は時期をずらすことも検討してほしい。
- 家に帰ってきて、水筒のお茶が半分くらい残っていることがあります。そういうときは、トイレに行くのを優先して飲む時間がなかったと言っています。暑さが厳しい時期は熱中症対策として、授業中も飲み物を飲めるようにしていただきたいです。  
→今年は例年以上に暑い日々が続きました。子どもたちの生命が一番大事ですので、しっかりと対策をしていきたいと思っています。  
ご指摘いただいた意見は全て対応していききたいと考えています。
- 「おはなしの森」が楽しいと話しています。これからのAI社会を生きていく子どもたちですが、人は人でしか救えない、という言葉があるように、人から人でしか伝えられないもの、伝わらないものは、確かにあると思います。貴重な体験を、ありがとうございます。  
→読書や本に触れ合う機会は貴重なものです。今後もAI社会を意識しつつも、人と人とが関わり合うことを第一に教育活動に推進していききたいと思っています。
- たかくらの防災学習は、こどもたちに日ごろの備えを意識させる、大変ためになる学習だと思います。先日の引き渡し訓練の際も、こどもたちの表情は真剣そのもので、感心しました。  
→子どもたちの生命を守ることが何よりも一番大事なことです。今後もスマイル防災部会による防災講義、体験、フィールドワークをはじめ、日々の安全教育、避難訓練をしっかりと行っていききたいと考えています。